

第 56 回 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 廃炉等技術委員会 議事要旨

日時：2024 年 2 月 7 日(水) 15:00～16:50

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 会議室及びオンライン

1. 次年度廃炉研究開発計画等について

機構及び経済産業省から次期廃炉研究開発計画等について以下のとおり説明を実施した。

- 今年度はこれまでの研究開発結果を踏まえ、成果の達成度を向上すべき課題や新たに取るべき課題を抽出するとともに、昨年度に引き続き、研究開発に係る RFI を公募し、幅広く廃炉・汚染水・処理水対策事業の内容の提案を受け、次年度廃炉研究開発計画の検討を行った。
- また、今回、福島第一原子力発電所の廃炉のための研究開発の実効性を高めるために実施している「1F 廃炉研究開発の東電・東双みらいテクノロジー(株)・JAEA・NDF の 4 者連携強化のための課題共有」活動により抽出された優先技術開発項目の開発実施内容及び中長期課題についての研究開発テーマを技術課題のまとめへ反映した。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり。

- 研究開発の進め方についての全体像が分かりにくい。何が重要で緊急性が高いのか、これまでの成果と抽出された課題について他機関との連携も含めて、分かりやすくまとめるように努力していただきたい。
- 事故の起きた原子力発電所での廃炉作業の困難さや、その難しさをどのように乗り越えていくかという道筋について、広く社会に伝わるようアピールすることが重要である。

委員からの意見を踏まえた修正については、委員長一任の上、次年度廃炉研究開発計画を廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合・事務局会議へ報告することについて同意がなされた。

2. 廃炉への取組状況について

東京電力より、ALPS 処理水の処分、1 号機燃料取り出しに向けた工事の進捗、2 号機燃料デブリの試験的取り出し、1 号機 PCV 内部調査（気中部調査）、増設 ALPS 配管洗浄作業における身体汚染発生を踏まえた対応について説明があった。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり。

- 東京電力には社会に対し、より丁寧に、よりわかりやすく説明する責任があるのではないかと。ALPS 配管洗浄作業における汚染発生に関しての対応について、誰もがすぐにわかるように東電のホームページのトップに経緯の説明と再発防止のための今後の対応を公表しておくべきである。

以上